

平成30年度 福井県立福井南特別支援学校 スクールプラン



【校訓】

明るい子 強い子 働く子（地域で生活できる子）

【学校教育目標】

共生社会の形成に向けて、小・中・高の学びの一貫性を推進し、自立と社会参加に必要な知識と技能、態度を身に付けた生活力のある児童生徒を育成する。

【教育方針】

- ・児童生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえ、主体的な学びを尊重し、ライフステージに応じた学習指導・支援を系統的に進める。
- ・地域とのつながりを深める体験学習、交流及び共同学習、キャリア教育を推進し、就労支援の充実に努める。
- ・地域の園・学校や、福祉・医療・労働等の関係機関との連携を深め、特別支援教育のセンター的役割を果たす。
- ・児童生徒が安全・安心に過ごせる学校を目指し、健康・安全・人権に関する指導や危機管理体制の充実に努める。

【重点目標】

1 教育課程、学習指導、生活の指導（各学部・寄宿舎）				2 危機管理 （学校全体）	3 交流促進 （学校全体）
ライフステージに応じた学習指導・支援					
①目標の共有化 ②環境の工夫 ③キャリア発達を育む授業づくり・生活支援				危機管理マニュアルに基づいた研修・訓練を通じ、教職員の危機管理に対する意識を高めるとともに、保護者への理解啓発に努める。	共生社会の形成に向けて、地域での交流活動を推進する。
（小学部）	（中学部）	（高等部）	（寄宿舎）		
一人一人の特性や発達段階、興味・関心を踏まえた「分かる・できる・活かせる状況」をつくり、児童が主体的に活動する授業の工夫を行う。	一人一人の特性に応じた「分かる・できる・活かせる状況」をつくり、生徒が主体的に活動する授業の工夫を行う。	将来の自立に向けて生徒一人一人が持っている力を発揮し、主体的に活動できるようにICT機器を活用した授業の工夫を行う。	寄宿舎生一人一人が主体的に行動でき、豊かに生活する力を育むために、生活する環境を整え、支援方法の工夫を行う。		

多忙解消の取組
適切な業務分担や会議の効率化に取り組み、業務改善に対する意識を高める。

関係機関等との連携
地域の関係機関との連携を図り、特別支援教育の理解啓発および児童生徒の健全育成を推進する。

人権教育の推進
教育活動全体を通して、いじめ防止を含む人権教育の推進に取り組む。

具体的取組 （小学部）	具体的取組 （中学部）	具体的取組 （高等部）	具体的取組 （寄宿舎）	具体的取組 （学校全体）	具体的取組 （学校全体）
<p>a 児童の実態を的確に把握し、児童の思いや実態に沿った授業づくりに取り組む。</p> <p>目標：児童の思いや実態に沿った授業づくりの目標指数80%以上</p> <p>b 授業研究会等で得た意見を取り入れながら、授業改善に取り組む。</p> <p>目標：授業研究会等を通じた授業改善の目標指数80%以上</p>	<p>a 生徒の思いや実態を把握し、生徒の生活年齢や発達状況に沿った授業づくりに取り組む。</p> <p>目標：生徒の生活年齢や発達状況に沿った授業づくりの目標指数80%以上</p> <p>b 授業研究会等で得た意見を取り入れながら、授業改善に取り組む。</p> <p>目標：授業研究会等を通じた授業改善の目標指数80%以上</p>	<p>a 生徒の実態を把握し、ICT機器を活用しながら、分かりやすい授業づくりに取り組む。</p> <p>目標：ICT機器を活用した授業実践の目標指数80%以上</p> <p>b 授業研究会等で得た意見を取り入れながら、授業改善に取り組む。</p> <p>目標：授業研究会等を通じた授業改善の目標指数80%以上</p>	<p>寄宿舎生の特性や実態を把握し、基本的な生活習慣が身に付くよう環境作りや支援方法を工夫する。</p> <p>目標：基本的な生活習慣が身に付くよう環境作りや支援方法の目標指数80%以上</p>	<p>a 情報管理・不審者対応も含めた危機管理体制の充実に努めるとともに、個々の役割について理解を深める。</p> <p>目標：危機管理における個々の役割理解の目標指数80%以上</p> <p>b 保護者に学校の取組を周知するとともに、災害時引き渡し訓練等を通じ、災害時の対応について理解啓発を図る。</p> <p>目標：保護者の危機管理に対する理解啓発の目標指数80%以上</p>	<p>地域の小中学校、高等学校、企業等との交流活動に取り組む。</p> <p>（交流活動＝居住地校交流、学校間交流、地域企業との交流、校外学習における地域での交流など）</p> <p>目標：児童生徒の地域での交流活動推進の目標指数80%以上</p>